

常磐文藝

童 謠
平町紫風生

◆父待つ乙女
淋しみを
胸に秘めて
只一人
夕の渚に
足運ぶ。

湖水にて

「浮きが動いてよ」
妹は兄の肩を
ゆすつた
兄は
ウン……………と
うなづいて
力一ぱい
釣竿を
引上げた
夕日に光る
銀色のウロコ
兄が魚を
ソツとつかめば
バタ／＼と
兄の手を打つた
ニッコリ
ほゝ笑みを浮べた
兄妹の顔。
……………完

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

開業披露

喜樂團子 皿十五錢
喜樂すし 井三十錢
散廿五錢
出前は遠近に不拘
早速お届けします
☑女給募集す

平館前 喜樂
電話呼出四六番

開設

御料理 大村や
郡役所横通

旅大村屋
平町二丁目
(電話一七五番)

是非

粹で上品な履物を
御求めの際は

三井履物店
平町二丁目 (電話一五六番)

洋食は
向上軒
平停車場新道通り
(電話五二三番)

外交員募集

業務簡易月収百圓以上あり
各自宅にありて本店との連絡取れます
御希望の方は履歴書持参の上御來談あれ外に優遇の方法あり

福島無盡株式會社
平町南町二〇(公會堂角)
現物賣買株式會社

大谷保太郎商店
電話二三四番

牛肉と葡萄酒

米國スエット會社一號
コンビーフ 牛肉 正味九十
多入一罐 金四十錢

甲斐産商店勝沼工場製
大黒葡萄酒 正味
一升入 金一圓九十錢
洋酒雜詰食料品商

西村屋藥舖
平町二丁目
電話三三番

營業種目

味付落花糖 新らたに菓子工場を經營して皆様方の御家庭にお安く提供する事となり
ました何卒お買の程を

久野製菓販賣部
福島縣平町一丁目
電話一五〇番
工場 平町長橋町六十一番地

吉田眼科醫院

御設備下さる

文化生活の強敵なる
恐るべき蠅の撲滅の爲に
驚くべし一匹のハイは、百參拾萬の
細菌を保有して居るそうです

和洋銅鐵 金物問屋
久釜屋商店
平町五丁目(電話長九番、一三九番)
特許のハイトリツク 金四圓五拾錢

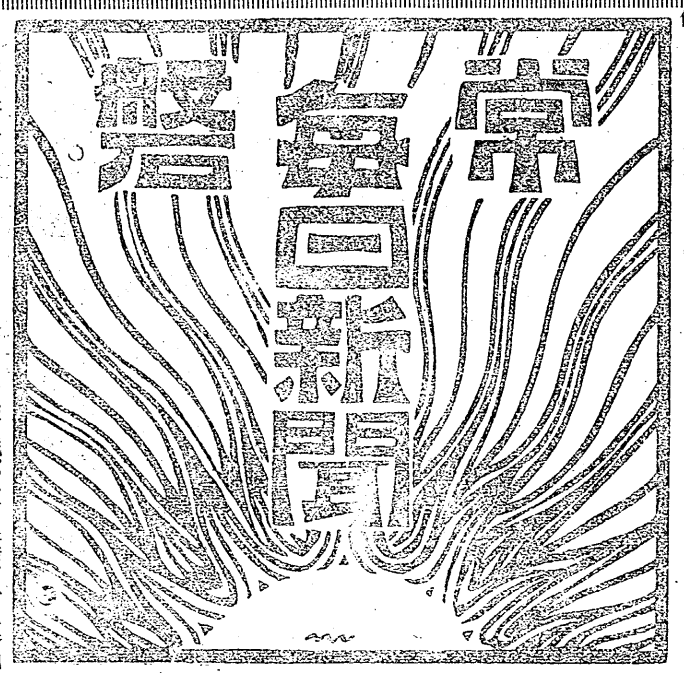
株式買中値

左記の値段は日本の標準値に付御用の節は御問合願候

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三、五
平銀行	五〇〇	六八、〇
磐城銀行	一一、五	一〇、五
磐城實業	五〇、〇	四〇、〇
田村實業	三〇、〇	二七、〇
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二四、五
同 新	一五、〇	一八、八
百七銀行	五〇、〇	五五、〇
同 新	一一、五	一六、〇
七七銀行	一一、五	九、八
郡山電氣	五〇、〇	三七、五
同 新	二五、〇	一七、五
只見川電	一一、五	七、〇
植田水電	一一、五	一五、五
好問水電	一一、五	一三、〇
磐城建物	一一、五	五、〇
磐城製菓	二〇、〇	四、〇
平信託	五〇、〇	二五、〇
磐城勸業	一一、五	一三、五
植田物産	三〇、〇	二六、〇
平製氷	二五、〇	二〇、〇
好問軌道	五〇、〇	三〇、〇
入山新	三三、五	一七、〇
小田炭礦	二五、〇	五、〇
磐城炭礦	五〇、〇	四一、〇
同 新	二二、五	一八、〇
磐城セメン	五〇、〇	六四、五
同 新	三三、〇	四三、〇
平運送	一一、五	八、〇

丸登株式会社

平町田町 電話三三三番
川添房二郎



定一部金貳錢 廣五號十二休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町五番地
一ヶ月廿錢 告五字請一行刊祝日ノ翌印刷所本社専屬 郵賜
價郵税五厘 料五十錢 日刊

發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町長橋町五番地
印刷所 常磐毎日新聞社

刊夕日六十二月八

未練を止めよ (三)

中山雅司

以上論じたる如く、未練と執着の起る場合は多々あるけれど、これを適度に止めてスツバリと思ひ切る事が出来れば、勇氣も元氣も新らしくなつて自己の進むべき路は豁然と開けて来る併し此斷念が口でやさしくして、實行に困難な仕事である愈々断念めねばならぬと氣付いた時、直ちに全力を傾倒して一刀兩斷の處致を成すべきである、これには甚大の勇氣を要する「進んで取るの勇よりも、取つて放たぬ勇よりも、捨て、

退く勇は難し」と哲人は言ふた穿つた言葉だ、また卑近な方法としては勉めて氣を換へる事が最も有益である、即ち今迄馬車馬的に眞一文字に進むで来たので更に端の事情や周囲の様子が目に入らぬい、そこで足を止めて側目をして見る成る程自分の進む道は此道ばかりでなかつた、右に花の咲いた道がある、左に青々とした道もある、それで先づ右へ行つて見やうと氣を換へるまた乳香兒が親の乳を離す時期は生後一ヶ年位を適當となす、とは産婆學の本文であるが實際に於て中々そ

昨今襲來する地震は 石城沖の震源地と観測

東北帝大地理化学部から
實地踏査に來郡

平地方では昨夜も十二時近くに可成強い地震に襲はれたが昨今頻々と地震襲來し殊に昨年の大地震の一周年も來る事としていやが上にも恐怖心と呼び、すつかり怯えきつて居る、福島測候所などでも昨今の強震は震源地を石城沖合と斷定して居る東北帝國大學地理化学教室も震源地を石城郡平町と平向した沖合と觀測し愈々どうしても石城沖合が地震の本場と決定したらしい見當なので同大學理化学部では地震學専門の教授及び學生が近く來郡し實地調査を行つて研究する由、

今日の雨は 愈々本降り

朝夕の冷氣

日中の暑さに引きかへて朝夕はほんとに秋らしく涼しくなつて來た、そしていよ／＼本降りとなつた、今日の雨が一層冷氣を呼んで午前八時頃の温度は七十六度に低下したこれで早魃の心配は絶對になくなつたが此調子で可成り強い雨が二日も續くと平町の南側方面は侵水の惶れがある

草野に裁縫校 石城郡草野村小林駒藏、馬上精作の兩氏は同村に小林裁縫女學校を設立の認申請可中

柔道の講習 演武場の活況

肉弾相ひ撲つ

暑中休暇の爲め歸省中なる早稻田大學生柔道四段鷹崎正見君其他が中心となつて去る廿四日夜より平署演武場に於て開催中なる磐城柔道講習會は毎夜卅余名の講習者あり肉弾相ひ撲つ音壯烈を極め頗る活況を呈して居ると

入山炭礦にて 坑特別賞與

從來の懸賞以外

石城郡湯本町入山炭礦にては坑内爆發の慘事以來入坑者減少せる爲め會社側では種々協議の結果從來の入坑懸賞皆勤賞與の外採炭場進一等四圓、二等二圓、三等一圓、支柱夫の一等二圓、二等一圓、運轉夫一等五圓、二等四圓、三等二圓、仕練夫一等七圓、二等五圓、三等三圓、電工一等五圓、二等四圓、三等二圓等の特別懸賞を九月上旬より實行せりと

赤井嶽に列車 石城郡赤井嶽藥師廿九日の宵祭りにには雜踏を見越して平赤井兩驛間に臨時列車を特發する由

江名豫防注射 石城

郡江名町大字下神白字網取にては腸チブス患者漸發する爲め去る廿四日新妻田村の兩醫師が百卅名に對して豫防注射を執行したと

伊坂町長出張 伊坂

町長は翁島に伺候せんが爲め本日午前六時半郡線にて出張し歸途石の巻の全園町村長會議に出席更らに抽臺礦務署に出頭平町地下試堀

お白粉やけの怪美人

容易に實をばかぬ

鹽屋呉服店が怪美人の爲めに數百圓呉服物を騙られたのど前後して半驛待合室では手提を掻きはれたり又萬引の被害を蒙る商店等も數多く、何れも犯人は女と目されて居た爲め平署にては或ひは同一人の處爲にあらすやと密行の刑事等は迂散臭しと呪んだ怪しげな女の後は是れを尾行し警察眼を働かせ警戒を怠らなかつたが一昨夜深夜更平驛



家庭欄

溺死者の蘇生法

溺死者は乾いたタオルで身体を拭ひつゝ摩擦し、頭部を低くうつ伏せにして胃部に枕が着物の丸めたものを

不意な事實

諸博事件擴大

平町新出町に根據を有せる賭博團は其後續々檢舉され本日平署はこれが取調べに忙殺されて居るが彼等一味の口から意外な事實が洩れた爲め刑事等は雨中を衝いて八方に活動を開始した

狐が暴れる

鷄の被害多く

石城郡磐崎村大字藤原宇田代山中内に子狐八頭を有する親狐三疋すみ毎夜民家の鷄を取つて食ふ由であるが過日も同村村上忠造同村田場坂佐藤八郎同村高木忠太方の鷄が何れも喰ひ殺され村民は困りぬいて居ると

不平受付

自働自轉車の練習

平町では自働自轉車が昨今非常に往復しますが多くは練習に飛ばして居る様で甚だ危険ですから町當局は南裏新道路を當分の間練習地帯に提供してはどうかせう(ケ) 伏見助役の答 特に自働自轉車の練習道路として提供する際には參りませんが工事や其他人に危害を與えぬ限りは差支へありません

根卸しの絞汁に醬油を加へたものが葡萄酒を益に一杯位飲ませれば最早安全であります、蘇生しない場合には更に人工呼吸を行ひます。それには先づ頸部背部の諸筋目をよく柔げ胸を高くして仰臥させますなほ鎖骨を引き上げる心持ちでその附近の筋目をもみます

常磐片々

石城沖が地震の本場 ナマツに本場を奪はれては鯉漁不況も無理はない

迷惑至極だがこればかりは手に負へぬ

ソレもののタトエにも瓢箪ナマツとネ

磐崎村の放牧地問題の中心點田代ヶ原に夜な／＼狐が現る

愈々本降り、今度は有り餘

江名濱の第二期工事

港灣を擴張

石城郡江名町の船舶碇繋場の第一期防波堤工事は本年度を以て完了するのであるが同町では續いて第二期浚渫工事を明年度より施行する計があるもので本縣では同漁港が石城地方漁業の主要な港となつて居ることを知悉して居るから縣補助を交附する意嚮であるが第二期工事は十萬圓位で三年繼

湯本町長決定 石城

那湯本町にては前縣會議員高木己之吉氏が町長に當選せるに對し反對陳情書等があつたが廿五日知事から認可さる

大敷網表彰

屍體搜索協力

石城郡豊間村大敷網漁業組合及び海上組合は去月廿八日同村海岸にて湯本町比佐仁の溺死体搜索に際し警察官並に消防組員協力發見に努力し廿三日平署にて伊藤

流燈會の催し

罹災者の供養

平町鎌田弘源寺にては同町青年團と合同主催にて九月一日午後八時より鎌田橋附近の夏井川に於て大震災罹死者追悼の大流燈會を催し供養の大施餓鬼を執行する

署長から表彰さる 初秋の夜に

平町人事

出生

△八幡小路 當時南滿州四平街南二條町本多麟太郎長男正行
△鎌田町 福本徳四郎長女ヨシ子
△新川町 當時東京市淺草區馬道町 草野榮次郎氏五女八
△死亡
△田町 木田一(三〇)
△立町 堀川メ(七)

無斷の家出